

凡例 Legend

**人工地形分類 Artificial Landform**

人工平坦地 (切り盛り造成地)  
Artificial ground(out and fill)

- 宅地等 Flatland for residential use
- 農地等 Flatland for agricultural use
- 変換工事中の区域 Area under modification
- 盛り土 Fill-up land
- 埋立地 Reclaimed land
- 切土地 Out slope
- 旧谷線 Buried valley

**自然地形分類 Natural landform**

山地 Mountains

- 山地斜面等 Mountain slopes
- 麓斜面及び崖線 Colluvial slope or Talus
- 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow

台地 Terraces and upland

- 砂礫台地 (更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)
- 砂礫台地 (完新世段丘) Gravel terrace (Alluvial terrace)
- ローム台地 (更新世段丘) Loam terrace (Pleistocene terrace)

低地 Lowland

- 緩傾斜地 Gentle Alluvial fan
- 扇状地 Alluvial fan
- 谷底低地 Valley bottom
- 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
- 自然堤防 Natural levee
- 旧河道 Abandoned channel
- 湿地 Wetland
- 三角洲・海岸低地 Delta or Coastal lowland
- 砂州・砂堆 (礫州・礫堆) Sand dune
- 砂丘 Sand dune
- 河原・河川敷 Dry river bed
- 浜 Beach

水部 Water

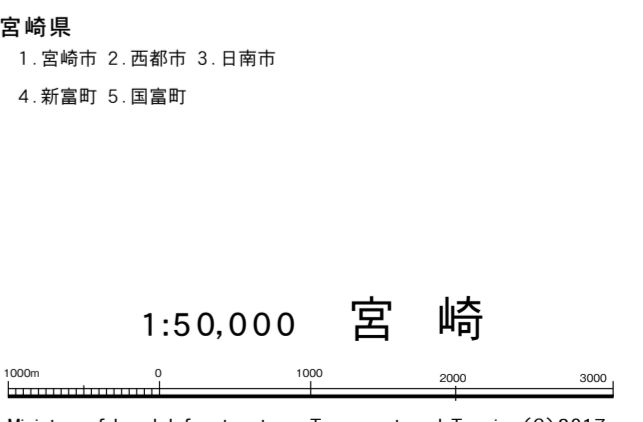
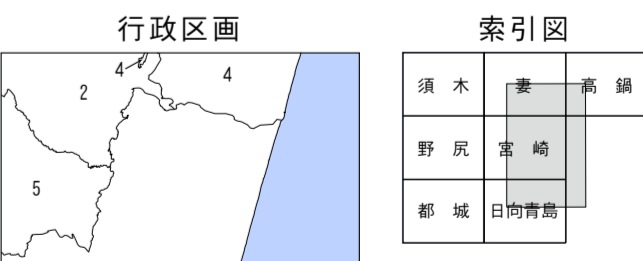
- 現水部 Recent water surface
- 旧水部 Former water surface

副分類 Subclass

- 崖 Cliff
- 凹地・浅い谷 Depression・Shallow valley

摘要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第52帯、中央子午線は東経129°
- 作業機関 昇寿チャート株式会社
- 背景地図 電子地形図25000
  - 築地原 平成27年11月調製
  - 日向青島 平成28年5月調製
  - 田野 平成27年11月調製
  - 宮崎 平成28年2月調製
  - 日向本庄 平成28年5月調製
  - 宮崎北部 平成28年5月調製
  - 佐土原 平成28年3月調製
  - 日向自置 平成28年3月調製
- 対応する二次メッシュコード  
473152, 473153, 473162, 473163, 473172, 473173, 483102, 483103, 483104



この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用しました。(承認番号 平28情使、第1169号)  
この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平28情復、第1411号)

1. 自然地形分類は、1:25000 土地条件図「宮崎市東北部」「宮崎市東部」「国土院院長 2013」・同「宮崎市西部」「国土院院長 2014」  
宮崎地形分類図(更新版)「宮崎県」(国土院院長 2022)・同「日向市」(国土院院長 2015)を基礎資料として編集したものである。  
編集にあたっては、以下の既存資料を参考に、空中写真の補正判読により修正を行った。  
5万分の土地分類基本調査(地形分類図)「宮崎県」(宮崎県, 1970)・同「美・高瀬」(宮崎県, 1984)・同「日向青島」(宮崎県, 1990)・自然地形の判読に使用した空中写真は、M682(昭22.12.5 米軍撮影), M25A-30(昭22.12.5 米軍撮影), M70(昭22.2.24 米軍撮影), M103(昭22.3.7 米軍撮影), M179(昭22.3.26 米軍撮影), M248(昭22.4.12 米軍撮影), M759(昭22.3.26 米軍撮影), M214-22(昭22.1.24 米軍撮影), M548(昭22.10.11 米軍撮影), KU-665X C2-C11(昭41 国土院院長撮影)。

2. 人工地形分類図は、最新の電子地形図の図面及び空中写真(KU-2005-9X, CKU-2005-3, 国土院院長撮影)の補正判読により作成したもので、基本的には電子地形図による地形の状況を示しているが、最新の地質図の状況が反映されていない場合がある。  
3. 背景地図 電子地形図25000  
4. 自然地形分類の現水部については、数値地図(国土基本情報)の水深値及び海岸線データを使用して作成した。  
5. 本図の作成に当たっては、専修大学の熊本洋大教授、宮崎大学の大平明夫教授のご指導をいただいた。